

法律の 現場から

143

名古屋城エレベーターと障害者差別

弁護士 矢崎暁子

名古屋城木造化計画について、河村市長は「建築当初の完全再現を目指すためエレベーターは設置しない」との驚きの主張をしています。フォークリフト、ドローン、ロボット等によって障害者を移動させるといのです。車いすユーザーでなくても、膝の痛い人、妊婦や幼児、荷物の多い観光客はどうなるのでしょうか？

エレベーターが廃止されると、係員を呼んで特別対応してもらわないといけなくなります。障害者は「見世物」ではありません。誰

でも気兼ねなく施設を利用できるようにしなければなりません。

そもそも照明をつける以上、「完全再現」ではないのですが、人権感覚まで江戸時代に戻ることは許されません。

